



答えはこちらから

山や崖、川や水路には

- ・大雨が降ったら
場所に身を寄せる
- ・地震が起ったら



防災

③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

②大きな声で

①すぐに

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら...

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、
なるのか、日頃から考えておこう。
を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なもの

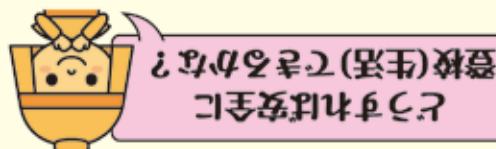
歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも



交通安全

3

自分の安全を守る方法を
身に付けよう！



どうすれば安全に
登校(生活)できるかな？

考えてみよう！～中学生のみなさんへ～

次のような状況の場合に、あなたはどのように行動しますか。

- 登校中に名前も顔も知らない大人に「君はどこの中学校の何年生？」と声を掛けられた。

- 学校の休み時間に、名札を身に着けていない名前も顔も知らない大人と廊下で対面した。

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全
に学校に通えるよう見守ってくれていま
す。緑のベストや腕章が目印だよ。



「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中
にすることを知らせてくれています。た
くさんの人に旗を掲示してもらえたら、
地域の安全安心にもつながるね。



まとめると... 地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨
地震

- ・河川敷や水路沿い
- ・崖の近く
- ・古く、手入れがなされていない住宅の側
- ・古びていたり、高さのあるブロッコリーの側



防災

まとめると... 誰もが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

- ・空の家と思われれる住宅
- ・落書きやゴミがそのままにされている場所
- ・人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- ・人通りの少ない道路やトンネル



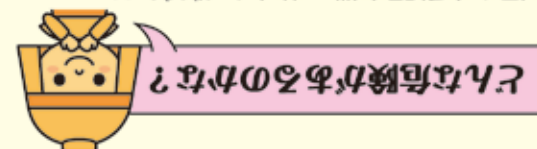
防犯

まとめると... 「飛び出し」が発生しやすい場所

- ・車と車の間
- ・歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- ・信号機のない横断歩道
- ・見通しが悪い交差点
- ・ブロッコリーや自動販売機、草木などがあり、



交通安全



どんな危険があるのかな？

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

校区安全マップ

高槻市立第七中学校



2 自分の校区を確認しよう

第七中学校



11 交通安全

見通しが悪く、バイクや車の交通量が多い。

10 交通安全

特に朝の時間は右折左折のバイク、車、トラックなどの交通量が多く、注意が必要。

12 交通安全

近くに大きなトラックがとまる駐車場があり、交通量も多いので注意が必要。

13 交通安全

交通量が多く、視界もせまいため、注意が必要。

14 交通安全

歩道橋を渡ること。

15 防災

田んぼなどの農業用水路になっており、天候に関係なく水量が多い時があるため、絶対に入ってはいけない。

16 交通安全

交通量が多く、直線道路でスピードを出している車やバイクが多い。



1 交通安全

車の交通量が多く注意が必要。用水路横のせまい道路。バイク・自転車も通行するため注意。

2 交通安全

人通りが少なく、不審者が出没しやすい。

3 防犯

周辺の見通しも悪く、一人で歩く時には注意が必要。

4 交通安全

新幹線下道路抜け道のため、交通量が多くスピードを出す車も多いので注意が必要。

5 防犯
防災

田んぼ地帯が多く、トラブル時、逃げ込んだり避難する場所がない。

6 交通安全

やや登りで、車がスピードを上げて通行するので注意が必要。

7 交通安全

道路沿いに倉庫が多く、倉庫に出入りするトラック等も多い。登下校の際、注意が必要。

8 交通安全

西面の交差点。交通量が多く、トラック等の大型車の交通量も多いため、注意が必要。

9 防犯

人通りが少なく、一人で歩く時には注意が必要。

地震発生時の避難場所 ()